

いさわ



住民自らの手でリレーされる交通安全だるま

交通事故や飲酒運転の撲滅を願う交通安全だるまリレーは4月13日、胆沢区南都田字宇南田の交通安全地蔵尊前を出発点にて区内全集落を巡回して行われました。

この取り組みは旧胆沢町時代からの恒例行事で、春の全国交通安全運動期間に合わせ、事故防止などを訴えてきました。1年間の無事故を祈願して開眼しただるまは、関係団体の役員らにより小山、南都田、若柳の3地区ごとに各集落会館などを巡回。参加した住民の前で集落の代表者がだるまに署名後、一緒に次の集落へ伝達します。この日は3地区71箇所合わせて約1600人が参加し、交通事故防止を誓い合いました。

全集落が交通事故撲滅誓う
区民の願いを乗せてだるまリレー

まちの話題



前沢を桜が包んだ春まつり

25歳は合同厄年連として出演



桜色の旗が印象的な桜未申友会の創作演舞

奥州前沢春まつりは4月20日、初夏を思わせる日差しのもと、前沢市街地で行われました。

まつりの主役、42歳厄年連「桜未申友会」をはじめ、25歳厄年連「子彩」、62歳厄年連「飛翔亥子会」の厄年団体、職場団体、よさこい団体、北天太鼓、前沢中学校応援団、地元の三日町組など多数の団体が出演。幼児連や地区子どもみこし、一輪車クラブアルスノバもかわいらしい笑顔で沿道に振りまきました。

中でも、若者らしい躍動感あふれる踊りで観客の注目を集めた25歳厄年連には、衣川区の同級生4人も参加。初の自治区を越えた前沢・衣川合同厄年連として出演し注目を集めました。会長の千田洋平さん(23)は「今回初めての試みだったが、良い機会になったと思う。後輩の活動につながれば」と期待を込めて話していました。

えさし

偉大な先人に一歩近づいた

東京小牧バレエ江刺教室が発表会



講師らもゲスト出演した舞台

NPO(特定非営利活動)法人いわてルネッサンスアカデミア(高野誠司理事長)が運営する東京小牧バレエ学園江刺教室の発表会は4月27日、江刺体育文化会館で開かれ、約800人が鑑賞しました。

同教室は、江刺区出身で戦後の日本バレエ界の先覚者小牧正英さんが創設した東京小牧バレエ団の協力で実現。平成16年4月に開設され、現在は幼児から成人までの4クラス70人が週1回のペースで学んでいます。中には北上市や一関市から通っている生徒もいます。

発表会には同団の菊池宗団長も出席し、偉大な先人の後を継ぐ生徒たちの真剣な演舞を見守りました。

花よりもパフォーマンス!

お物見公園桜まつり

桜の名所として知られるお物見公園桜まつりは4月13日、前沢商工会青年部(三浦純部長)などが主催して開かれました。当日公園内の桜はまだつぼみの状態でしたが、好天にも恵まれ、会場は朝から詰め掛けた家族連れやグループなどでにぎわいました。

まつりの見所は、歌や踊り自慢が集ったパフォーマンスフェスティバル。テレビ番組で活躍するフリーアナウンサー柳咲恵さんの司会で、カラオケやダンスなどのパフォーマンスが披露されました。来場者は赤く色づいたつぼみと前沢牛の焼肉などを楽しみながら、春の休日を満喫していました。



思い思いのパフォーマンスを披露

まえさわ

ころもがわ

ひるがえる鯉の群れに歓声

衣川荘で20年ぶりにこいのぼり

懐徳館最上階から見学する園児



サンホテル衣川荘に4月24日、20年ぶりにこいのぼりが揚げられ市民の目を楽しませています。公開初日はあいにくの雨となったものの、衣里幼稚園と前沢保育園の園児ら56人が見学しました。

衣川荘本館と懐徳館の間をワイヤーで渡された55匹のこいのぼりは、同館が市職員や従業員に寄贈を募って集めたものです。55の数字はこどもの日の5月5日にちなんだもの。公開を記念して特別に懐徳館最上階から見学した園児たちは、空中を元気良く泳ぐ姿を見て「こいのぼりさんガンバレー」などと声を掛けながら、歓声を上げていました。

健やかな成長祈りいざ出陣

子供騎馬武者行列

水沢の春の伝統行事「子供騎馬武者行列」は5月3日、水沢区と金ケ崎町で行われ、有名な武将などに扮した子どもたちが馬に乗って市街地を練り歩きました。

この催しは、平安時代末期に東北地方の戦乱を鎮めた源頼義・義家父子の故事にあやかり、子どもたちの健やかな成長を願って行われているものです。ことしは5年に一度の奉遷記念特別大祭の年に当たるため、水沢区だけでなく金ケ崎町でも行列を再現。昨年よりも多い43頭での騎馬武者行列となりました。沿道には、子どもの家族や観客が立ち並び、勇ましくも愛らしい子供騎馬武者に目を細めて見入っていました。

堂々と練り歩く子供騎馬武者



みずさわ